

2024年1月10日

各 位

株式会社紀陽銀行

生成A I「ChatGPT」の試行導入について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、業務の生産性向上をめざし、生成A Iの試行導入を開始しましたので下記のとおりお知らせいたします。

D Xを進めるうえでA I技術は重要な要素であり、生成A Iは、自動文章生成・問い合わせ業務の改善・クリエイティブなコンテンツ生成など、多くの分野で新たな価値を生み出す可能性があります。当行では「生成A Iワーキンググループ」を設置し、本部業務への活用可否・ユースケースを検討するために、6か月間の試行導入をおこないます。

紀陽銀行は、今後もより一層業務効率化や生産性の向上を促進し、お客さまにより質の高いサービスを提供してまいります。

記

1. 試行の概要

- ・ 試行期間 2024年1月～6月（予定）
- ・ 対 象 本部業務

※当行の生成A Iは、日本マイクロソフト株式会社のクラウドサービス「Microsoft Azure」上の当行専用環境に「Azure OpenAI Service」を活用し、厳格なセキュリティのもと構築・運用します。利用においてはガイドラインを制定するとともに、お客さまの情報や機密情報等の取り扱いについては、法令・諸規定を順守のうえ、厳格に対応いたします。

2. 生成A Iツールの独自開発について

システム開発を業務とする関連会社の紀陽情報システム株式会社（代表取締役社長：向井 守寿）では、自社環境に独自の生成A Iツールを開発し、2023年11月より全社員を対象に運用を開始しております。さらに、システム開発効率を向上させるため、生成A Iを活用したシステム開発ツールの実証実験もおこなっております。

紀陽銀行ならびに紀陽情報システムでは、業務アプリケーションへの生成A I適用など、今後も引き続き生成A Iを活用した業務効率化を追求してまいります。

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

